

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022 年 10 月 14 日 (17:30 ~18:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	7人	1人	人	9人

前回の改善計画
本人、家族の情報を、ミーティングに参加できない人にも伝達できる方法を考え、まだ慣れていない時の声掛けや気遣いから大切にしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
書面と口頭両方からの伝達をするよう努め、慣れていない方への声掛けは、個々の形で取ることがほぼできていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	8			9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	8			9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	5			9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	4	1		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用開始前の情報を個人でもミーティングでも共有し、本人とのコミュニケーションを少しでも取り、まずは安心して頂くよう努めている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ミーティングに参加できないと、完全な情報共有は難しい。</li><li>・初めからの家族からの聞き取りは、充分にはできない。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	ミーティングでの情報は個々で必ず目を通し、送迎などでの家族との関りでわかることも、記録に残して共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年 10月 14日 (17:30~18:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	1人	人	9人

前回の改善計画	本人の「～したい」だけでなく、ゴール (長期目標等) を知って支援にあたる。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の希望を日々のかかわりで聞き取り、目標としているところをプランで確認して取り組むように努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	7	1		9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	5	2		9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6	3		9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	3		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 日々の関りでの気づきを記録し、ミーティングで話し合い、対応に繋げるようにしている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 全員のニーズ、短期・長期の目標の把握はできていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 常にファイルを開き、プランで「目標」を確認して支援にあたり、関りの中で希望も聴きとり、支援に繋げていけるようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年 10月 14日 (17:30~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	4人	1人	9人

前回の改善計画	利用者全員の「以前の暮らし方」を10個以上把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	具体的な対策ができていなかったこともあり、できている人とできていない人のバラつきがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	4	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		2	6	1	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	4	5			9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	5	3		9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	5	1		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人の気持ちや体調の変化の気付きは、早急にチームで確認し合い、即時的に支援に繋げている。
--------	--

できていない点	本人の声にならない声を聴きとめることは、人によりコミュニケーション力の差もあり難しい。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 会話の少ない方の思いが聴きとれるよう、まず側に座ることからしていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年 10月 14日 (17:30~18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	6人	3人	人	9人

前回の改善計画	今までの地域での馴染みの方の名前などを会話の中に意識的に入れて、地域での関係を忘れないように支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の会話やレクリエーションに、家族や地域の話題も入れながら楽しんで頂く時間を、全体的に多く持った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7	2		9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	5	2		9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	3	1	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	5	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でも家族との面会、ボランティアの活用ができている。</li> <li>・地域との交流であるオープンカフェや買い物ツアーも行った。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
すべての利用者の地域との関わりを持つことは難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ボランティアの活用や地域の方との交流の機会を、事業所からも発信していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年 10月 14日 (17:30~18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	3人	3人	人	9人

前回の改善計画	地域の資源の活用も難しい今は、小規模多機能だからできるニーズへの対応を、できるだけ取り入れていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所でのオープンカフェや買い物ツアー、毎月の行事で、利用者に外出に変わる楽しみを感じてもらおうようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	3	5		9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	3			9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	6			9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	4			9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>日々の関りからわかる必要性を、情報共有から支援へと早く繋げることができる。</li><li>ささえさん（ボランティア）を活用している。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>地域資源が何かを理解できていない人が多かった。</li><li>地域資源は、必要な方にのみ繋げている。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
小規模多機能のサービスで柔軟な対応を継続して行い、地域の資源が必要な方には、説明し、繋げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年 10月 14日 (17:30~18:30)

6. 連携・協働

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	3人	4人	9人

前回の改善計画	安全に参加できる地域の活動を探し、感染対策をして参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の活動が全くと言っていいほど、コロナによる中止で参加はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	1	3	4	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1		2	6	9
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		1	3	5	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	2	1	4	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 子供の家としての働きや、オープンカフェなど、事業所で地域との繋がりを持つようにした。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の活動は中止がほとんどで、参加ができなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 外部の行事への参加ができるまで、事業所でもオープンカフェなどを開催し、地域との交流を続けていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年 10月 14日 (17:30~18:30)

7. 運営

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	3人	4人	9人

前回の改善計画	感染対策をして、運営推進会議にできるだけ交代で参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	感染対策をしての運営推進会議であり、回数も2回少ない中であつたため、介護職員は出席できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	2	4	1	2	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7			9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	1	1	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	3	3	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 運営推進会議で地域の方との意見交換ができ、常に、事業所での取り組みの協働をお願いしている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
---------	-------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 運営推進会議に介護職員も参加していく。
---------------	---------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年 10月 14日 (17:30~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	3人	人	9人

前回の改善計画	コロナ対策をしっかりと、できるだけ研修に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	内外共に研修の参加が、伝達研修も含めできてきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	6	1		9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	2	4		9
③	地域連絡会に参加していますか		2	2	5	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	6			9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・内部研修への参加は、伝達研修の参加も含めてできている。 ・小さい事でもヒヤリハット報告書を出すようにして、リスクマネジメントに取り組んでいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の防災会議等、今迄参加していた会議が中止が多かった。 ・勤務中の研修には、参加したくてもできない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
自分でも参加したい研修を調べ、積極的に参加していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2022年 10月 14日 (17:30~18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	人	1人	9人

前回の改善計画
職員間の会話から個人情報を利用者に伝わることを無ないように常に意識して行動する。
前回の改善計画に対する取組み結果
職員間の会話を、個人情報の時は声量を下げ意識してするように心がけたが、大声が聞こえる時もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9				9
②	虐待は行われていない	9				9
③	プライバシーが守られている	2	7			9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1	2	4	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	7			9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待については、研修などで知識を付け、しないように心がけている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
使用していない時のトイレの扉の開けっ放しも、大声での排泄チェックも無くなっていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員間で個人情報について話す時には、場所や声の大きさを考え、漏れないように注意する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 三重ベタニヤ	代表者	理事長 村上 久	法人・ 事業所 の特徴	法人理念はイエス・キリストの愛と奉仕の精神をもって高齢者にお仕えすることです。それを支える柱として(1)敬神と隣人愛をもって、(2)人の価値を行為にではなく、その人の存在そのものに価値を置き、(3)加齢を肯定的に捉え、枯れた美しさを見出す、ことに据えています。事業所としては、地域との繋がりを大切に、利用者にとってのもう一つの家のような、個性を尊重した居心地の良い所となるよう、三位一体(利用者・家族・職員)の温かい絆を大切に、寄り添った介助・介護ができるよう努めています。
事業所名	いこいの家小規模多 機能型居宅介護事業 所	管理者	古川 理佳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援セン ター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	人	人	2人	人	2人	4人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	この時期だからこそ必要な社会資源を考え、生活に必要な方に繋げていく	この時期で外部の社会資源の活用が難しかったが、お帰りのSOSネットワークなど、必要な部分を繋げている	自己評価が低い職員は管理者から見てどうかという質問があり、できていても低くする職員や、評価の理解が違い、低くしてしまう職員もあると伝えた	情報を見て、聞いて、伝達ができているか職員間で確認し、実行する習慣をつける
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者だけでなく、家族や地域の子供たちも訪れる玄関から先ず感染対策をして、安心して入りやすい空間にしている	多くの方が玄関で面会をすることが多かった。子供たちが気軽に立ち寄れる場所にもなっていた	換気もあり玄関は現在開け放して入りやすい空間になっているが、暑さや寒さへの対応が難しくないかという意見があった	玄関を開けて換気をしながらも、温かい空間になるよう季節に合わせた工夫をして、地域の方や子供たちも訪れやすい場所にしていく
C. 事業所と地域のかかわり	利用者以外の方でも、24時間365日連絡が取れる場所として、緊急時に相談してもらえらることを伝えていく	地域にずっと動いている施設があるのは安心であるけれども、どこまで知ってもらっているか、伝え方の工夫がいろいろあると思われる	事業所でオープンカフェや運動教室を開催して、地域の方に足を運んでもらい、少し以前の繋がりが回復してきている	オープンカフェや運動教室を開催し、地域の方々との交流や相談がしやすい場所にしていく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域との昔からの繋がりを少しでも繋げていけるよう、事業所でできることを考えて関わっていく	以前のような学校や幼稚園との直接の交わりは無かったが、松尾小学校の「福祉委員会」の皆さんとの手紙のやり取りができた	「わたせい」の協力で短時間お店を貸し切り、久しぶりに買い物ツアーで、家族も共に楽しんでもらう機会となった	地域での昔からの繋がりの中から、感染対策をして外出の機会を少しずつ増やしていく
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域や事業所で心配な方の事例検討を一度でも行う	事例検討は、事業所の事例をもとにした検討がされていた	こんな時だから、様々な活動の報告も含め、WEBをもっと活用すると良いのではないかという意見があり、取り入れてきている	地域の方から課題となっている事例を出してもらえよう声掛けをしていき、事例検討を行う
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の防火訓練への参加のこえかけをしていき、地域の情報も取り入れた訓練に繋げていく	参加の声掛けはされていたが、なかなか参加には結びつかなかった	災害時の業務継続化計画(BCP)や福祉避難所としての働きについても、地域と共に考えていく必要がある	事業所の防災訓練への参加をお願いし、福祉避難所についての話し合いも、会議の中でしていけるよう備えていく

